



# 定期戦 10 連勝達成！

平成31年4月29日(月)

平成最後の定期戦は本校が、16種目実施された競技で、13勝3敗の成績を収めて優勝しました。今回の勝利で連勝を10に伸ばすとともに通算対戦成績は39勝34敗9引き分けとなりました。閉会式後、本校グラウンドには、全生徒による円陣が組まれて、「為桜の丘」が声高らかに歌われました。来年は、大台の40勝を目指すことを生徒達と誓い合いました。

応援していただきました関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

4月30日の茨城新聞

2019年(平成31年)4月30日 火曜日

## 「常総の早慶戦」 母校の誇り懸け激闘

### 「平成最後」は下高勝利

「常総の早慶戦」と称される県立下妻・高(下高)と県立水海道(一高(海高))の運動会同士による常総対水海道が、下妻市下妻の市立グラウンドで行われた。生徒や保護者、卒業生らが熱い声援を送る中、母校の名譽と誇りを懸けた「平成最後」の伝統の一戦は下高が勝利を収めた。下高は通算成績を引継ぎ対戦10に伸ばして喜びを分かち合った。

定期戦は戦後初めて1947(昭和22)年、若者に夢を希望を持たせようとの願いを込めて始まり、以来、72年間も続く全国でも珍しい対校戦として定着している。

下高生徒会長の斎藤雅斗(さん)は「3年」は「歴史です。平成最後の対戦。令和への橋渡しができた。後輩たちは新しいことにチャレンジして(定期戦を)より良いものにしてほしい」と述べた。敗れた高専生徒会長の小倉ゆき乃(さん)は「連年たちが健闘して素晴らしい定期戦になったが、本心に悔しい結果。令和からは海高の時代として、勝利するべきを確信している」と言葉を交わした。

ト高に通う係の足塚に新れた古河市の関後江さん(20)は「楽しみでわくわく。応援に励む。学生たちの要はお仕事」と話していた。(小林久隆)

「常総の早慶戦」と称される県立下妻・高(下高)と県立水海道(一高(海高))の運動会同士による常総対水海道が、下妻市下妻の市立グラウンドで行われた。生徒や保護者、卒業生らが熱い声援を送る中、母校の名譽と誇りを懸けた「平成最後」の伝統の一戦は下高が勝利を収めた。下高は通算成績を引継ぎ対戦10に伸ばして喜びを分かち合った。

定期戦は戦後初めて1947(昭和22)年、若者に夢を希望を持たせようとの願いを込めて始まり、以来、72年間も続く全国でも珍しい対校戦として定着している。

下高生徒会長の斎藤雅斗(さん)は「3年」は「歴史です。平成最後の対戦。令和への橋渡しができた。後輩たちは新しいことにチャレンジして(定期戦を)より良いものにしてほしい」と述べた。敗れた高専生徒会長の小倉ゆき乃(さん)は「連年たちが健闘して素晴らしい定期戦になったが、本心に悔しい結果。令和からは海高の時代として、勝利するべきを確信している」と言葉を交わした。

ト高に通う係の足塚に新れた古河市の関後江さん(20)は「楽しみでわくわく。応援に励む。学生たちの要はお仕事」と話していた。(小林久隆)

「常総の早慶戦」と称される県立下妻・高(下高)と県立水海道(一高(海高))の運動会同士による常総対水海道が、下妻市下妻の市立グラウンドで行われた。生徒や保護者、卒業生らが熱い声援を送る中、母校の名譽と誇りを懸けた「平成最後」の伝統の一戦は下高が勝利を収めた。下高は通算成績を引継ぎ対戦10に伸ばして喜びを分かち合った。

定期戦は戦後初めて1947(昭和22)年、若者に夢を希望を持たせようとの願いを込めて始まり、以来、72年間も続く全国でも珍しい対校戦として定着している。

下高生徒会長の斎藤雅斗(さん)は「3年」は「歴史です。平成最後の対戦。令和への橋渡しができた。後輩たちは新しいことにチャレンジして(定期戦を)より良いものにしてほしい」と述べた。敗れた高専生徒会長の小倉ゆき乃(さん)は「連年たちが健闘して素晴らしい定期戦になったが、本心に悔しい結果。令和からは海高の時代として、勝利するべきを確信している」と言葉を交わした。

ト高に通う係の足塚に新れた古河市の関後江さん(20)は「楽しみでわくわく。応援に励む。学生たちの要はお仕事」と話していた。(小林久隆)

毎朝 頭の体操

鉄 棧 架

## 令和への思い襖絵に

### 水戸・私道館 改元記念イベント

水戸市三の丸の私道館で5月1日、改元を記念するイベント「襖絵タイムカプセル」～

文によっていることから、梅の名所である私道館で企画された。イベントでは、恵川斎